

■東住吉区の魅力や強みについて

区の魅力・強み、地域資源や特性			関連データ等
(キーワード)		(説明)	
地域資源	長居公園	認知度も高く、スポーツを楽しめるのみならず、イベントやコンサート等で多様な世代が集い、芸術や植物など心に触れる、「食」「学び」もある空間	長居公園全体利用者数991万人(R5年度) ※従来からの取組に加え、R3年度から新たな指定管理者による長居公園活性化の取組により、新たなにぎわいや人流が生じている
	商店街(駒川商店街など)	大阪を代表する駒川商店街があり、昔ながらの人と人の繋がりが、暖かみを感じる事ができ、また祭りが開催される等して賑わっている	大阪市内有数の賑わいを抱える駒川商店街であるが、区中心エリアにおいては、事業所・商店数の減少等、地域経済が減退傾向にある。 卸売・小売商店数1,968(H19・2007年)⇒1,160(R5年大阪市統計書・H28年経済センサス)
	公園・自然・農空間	たくさんの公園があり、区花であるナデシコや伝統野菜である田辺大根など自然が身近にある。今川緑道の桜、田辺の螢、矢田ではお米、季節を感じられる	市唯一の運動公園である長居公園を有し、行政面積(9.75㎡)に対する公園面積比率は8.93%と市内3番目に多い。経営耕地面積は470aと市内4番目。生産緑地地区指定状況は市内2番目
	閑静な住宅エリア	区の面積の半分近くは住居系施設	区内人口132,314人(市内7番目)(R6年3月)
	多様なハード	大阪市東部中央卸売市場、東住吉区民ホール、東住吉会館、大阪市立東住吉図書館、東住吉区子ども子育てプラザ等があり、施設や活動団体等、社会資源が多い	
	歴史がある		
特性	交通利便性	都心部に近く、各鉄道へのアクセスの容易で、JR関西本線・阪和線、近鉄南大阪線、市営地下鉄谷町線が区域を運行し、住みやすい	●駅別乗降人員(2023.11.7) 駒川中野17,322人、北田辺4,945人、今川3,639人、針中野8,352人、矢田8,868人
	買物が便利	生活するのに便利な町	区内23商店街が立地(20を超える商店街が立地しているのは、ほか北区、中央区、淀川区、生野区、阿倍野区、西成区)
	子どもの住みやすい環境	国、大阪市平均より高い出生率	●出生率(人口千人対) 7.3、出生数924人(市内7番目)(R4年)
	地域愛	昔から住んでいる方の地域を想う気持ちや地域の子供達を想う気持ちが大きく、地域コミュニティが強い。ボランティア、各種団体活動が活発。まちが清潔で、美化意識が高い	●令和5年調査より町会加入率60.1%(参考)市平均町会加入率46.4%
	医療・福祉が充実	「長居障がい者スポーツセンター」や「大阪発達総合療育センター」「早川福祉会館」等がある	
	その他	当日のご意見も踏まえ、ほかキーワードに分類しきれなかった内容について	●職住近接にまつわるデータ 区内事業所数6,836(2006年)⇒5,389(2021年・大阪の経済) ●空家にまつわるデータ 区内空き家率18.2%(R5住宅・土地統計調査)

魅力や強みをより高めていくために必要なこと
子供から高齢者まで参加できるイベントなどで、区民には楽しんでもらい、区外の方には、東住吉区をアピールしていくために、もっと活用する。東住吉区全体としての合同イベントのようなものを開催していく。男女ともにきれいで多目的なトイレに
単発だけでなく、区内の「多様なハード」と掛け合わせていろんなイベントをする。盆踊りを通じた世代間交流ほか、空き店舗では「レトロ」を全面的に出すイベント(スタンプラリーとか)があったも良い。人口減少時代におけるアップデートや、買物難民対策
新しく出来る大和川沿いの施設でもたの公園で残すのではなく自然を使ったイベントとかがあっても嬉しい
「閑静な住宅エリア」と、市内では出生率が比較的高率であることを掛け合わせ、若い世代を呼び込む。住宅地としての共生社会に向けた取組(外国籍・留学生等)。多世代の居住を支えるためのハード整備(バリアフリー、ユニバーサルデザイン、DX)。
歴史の深みを活かすために、景観や街並みの保存を。歴史を知ることにより、区の特徴を内外に知ってもらう
各駅に区内イベント情報などチラシ・ポスター等で発信する。また駅前ポイントラリーみたいなイベントを開催。区内の移動が困難であり、バスの路線がほとんどなく、区内の主要施設を回るバスが必要。障がいのある方でも気軽に外出ができる環境整備が必要。
学校教育の充実
区民が地域にかかわる機会を充実させる。多くの若い世代が役を継いでくれるように
障がい者・高齢者が、他の区民の方々と関わる機会を増やしていく
若者にとって、東住吉区で生活し、活動することが良い(魅力的だ)と感じられるような施策の充実。住民と行政がもっと密になれるような関係性作りが大切。ただ集まるだけでなく、しっかりディスカッション出来るような場が必要。親子で散歩や公園で遊ぶ時に、安全できれいに使用出来るよう、公共のトイレの改善が必要。働く場所の確保(職住近接)。強みを現代の時代に合わせたアップデート。若い世代が住む場所のため、高齢者の住宅や空家の施策が必要

■将来的にめざす
“東住吉区”のイメージ

★誰もが、ずっと住みたくなるまち

- ・つながり・支え合い
(人・団体・機関・笑顔・ボランティア)
- ・子育て
(みんなで育てる・教育環境の充実)
- ・交通網の充実
- ・きれいな緑豊かな公園がもっと身近に
- ・わくわくする
- ・働き場所がある
- ・スポーツを楽しめる
- ・安心・安全
(健康・インフラ・障がいのある方でも気軽に外出できる)